

平成 25 年 6 月の主な地震活動^{注 1)}

番号	月 日	時 分	震央地名	深さ (km)	M	M _w	最大 震度	備考／コメント
1	6月2日	14時43分	台湾付近	ごく浅い	6.3	6.3	1	
2	6月4日	17時33分	福島県沖※	48	4.7	4.6	4	太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震
3	6月6日	12時28分	千葉県東方沖※	50	5.0	5.2	3	太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震
4	6月7日	22時29分	新潟県上中越沖 ^{注 2)}	11	3.8	-	4	地殻内で発生した地震
5	6月8日	1時38分	与那国島近海	25	5.8	5.7	3	
6	6月8日	16時17分	和歌山県北部	4	4.0	-	4	地殻内で発生した地震
7	6月8日	20時39分	和歌山県北部	4	3.9	-	4	地殻内で発生した地震
8	6月13日	22時24分	沖縄本島近海	37	5.8	5.7	3	
9	6月21日	16時31分	奄美大島近海	22	4.6	-	4	
10	6月27日	16時13分	栃木県北部	7	3.9	-	4	地殻内で発生した地震

注 1) 「主な地震活動」とは、①震度 4 以上の地震、②M6.0 以上の地震、③陸域で M4.5 以上かつ震度 3 以上の地震、④海域で M5.0 以上かつ震度 3 以上の地震、⑤前に取り上げた地震活動で活動が継続しているもの、⑥その他、注目すべき活動。なお、掲載した震源要素については、後日修正されることがある。

注 2) 情報発表に用いた震央地名は「新潟県上越地方」である。

※印のついた地震は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域で発生した地震

・地震防災対策強化地域判定会検討結果

平成 25 年 6 月 24 日に気象庁において第 326 回地震防災対策強化地域判定会を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表しました。その後も東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測されていません。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測されていません。

1. 地震活動の状況

静岡県中西部の地殻内では、全体的にみて、2005 年中頃からやや活発な状態が続いています。

浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、引き続き地震の発生頻度のやや少ない状態が続いています。

その他の領域では概ね平常レベルです。

なお、6 月 12 日に愛知県のプレート境界付近において深部低周波地震が観測されました。

2. 地殻変動の状況

全般的に注目すべき特別な変化は観測されていません。

G N S S※観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。更に、傾斜計、ひずみ計等の観測結果を含めて総合的に判断すると、東海地震の想定震源域におけるフィリピン海プレートと陸のプレートとの固着状況の特段の変化を示すようなデータは、現在のところ得られていません。

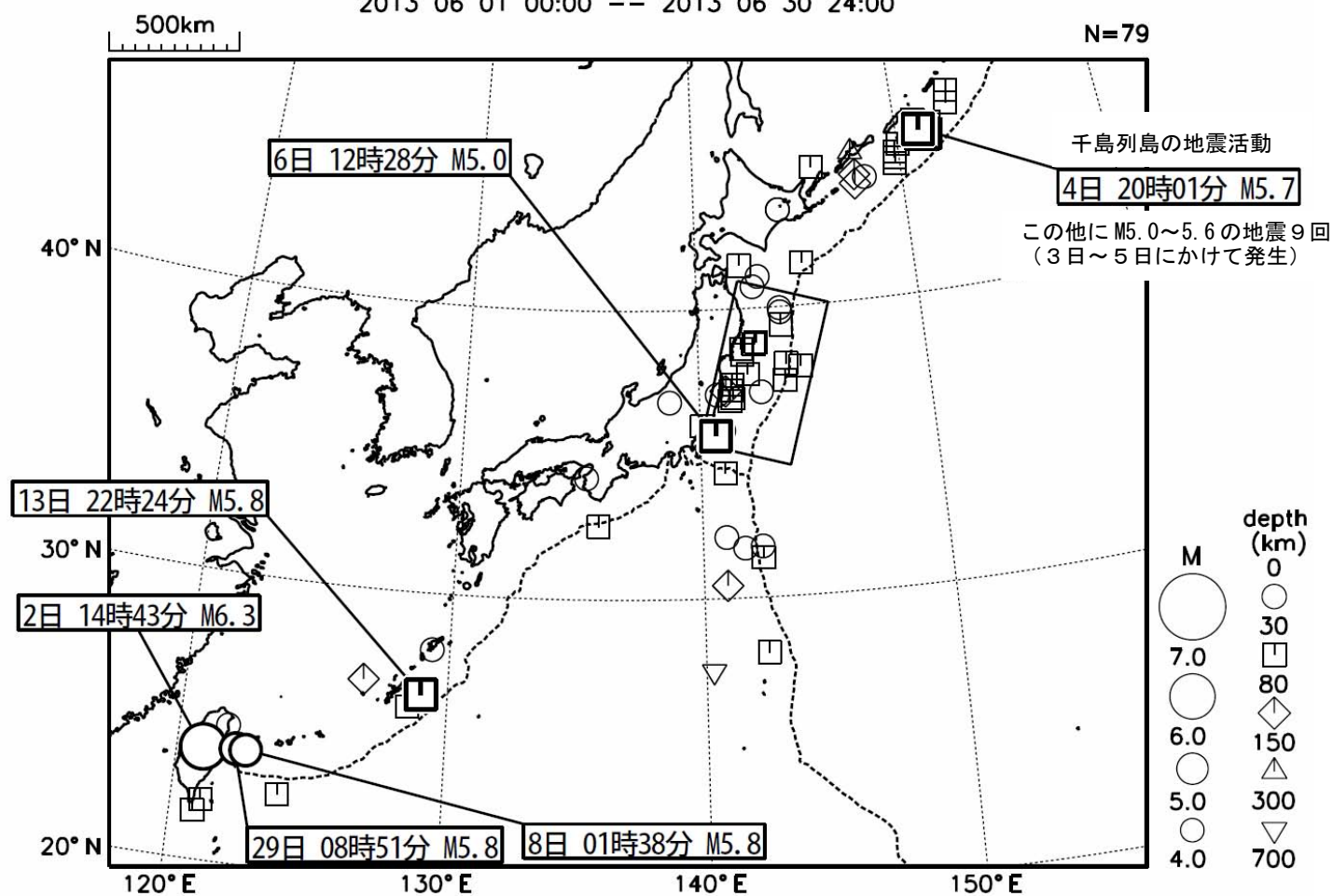
なお、6 月 11 日から 12 日にかけて、愛知県のプレート境界付近に生じた「短期的ゆっくりすべり」に起因するとみられる地殻変動が周辺のひずみ計で観測されました。

また、G N S S※観測の結果によると、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地域においてもみられています。

※G N S S (Global Navigation Satellite Systems)とは、G P Sをはじめとする衛星測位システム全般をしめす呼称。

2013 年 6 月の全国地震活動 (マグニチュード 4.0 以上)

2013 06 01 00:00 -- 2013 06 30 24:00



※ 矩形は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域

- ・ 6 月 2 日に台湾付近で M6.3 の地震（最大震度 1）が発生した。

[図中に日時分、マグニチュードを付した地震は M5.0 以上の地震、または M4.0 以上で最大震度 5 弱以上を観測した地震である。また、上に表記した地震は M6.0 以上、または M4.0 以上で最大震度 5 弱以上を観測した地震である。]

気象庁・文部科学省（気象庁作成資料には、防災科学技術研究所や大学等関係機関のデータも使われています）